

エコアクション21
環境経営レポート

令和6年9月～令和7年8月

株式会社 内田土木

令和7年12月13日 作成

I 事業概要

株式会社 内田土木
代表取締役 内田 陽

埼玉営業所
工事部部长 荒木 祐介

茨城営業所
専務取締役 内田 茂

栃木営業所
常務取締役 内田 豪

千葉営業所
児玉興業 児玉 春治

有限会社 城北ガードシステム
代表取締役 内田 陽

II 所在地

本社 〒123-0841 東京都足立区西新井5丁目9番6号 (登記上)
 埼玉(営) 〒340-0832 埼玉県八潮市柳之宮157番1号
 茨城(営) 〒311-3131 茨城県東茨城郡茨城町小堤字久保604-1
 栃木(営) 〒329-0618 栃木県河内郡上三川町しらさぎ2丁目26番7号
 千葉(営) 〒292-0834 千葉県木更津市潮見3丁目11番3号
 有限会社 城北ガードシステム 〒340-0832 埼玉県八潮市柳之宮157番1号

III 事業活動内容

◎内田土木

当社は一般建設業として昭和59年に設立し、地中配電線工事、電線共同溝工事(CCBOX)を主体に一般建設業の施工会社として営業しています。

【事業概要】

昭和59年10月20日設立
資本金 1,000万円

従業員 60名

【一般建設業】
とび・土工工事業

東京都知事 許可(般一17)第74059号(R12/7/24))
舗装工事業

【収集運搬業】

	許可番号	許可年月日	許可有効年月日		許可番号	許可年月日	許可有効年月日
東京都	1300014810	H31.3.11	R11.3.10	埼玉県	01107014810	H25.1.11	R9.11.28
栃木県	0900014810	H24.12.19	R12.5.15	茨城県	00801014810	H29.1.13	R8.11.14
千葉県	1200014810	H24.8.23	R9.8.6	神奈川県	01400014810	H27.7.14	R12.7.13
				群馬県	01000014810	H28.12.26	R8.12.25

(1) 業の区分

収集・運搬(保管・積み替えを除く)

(2) 産業廃棄物の種類

がれき類、以上1種類

(3) 処理実績(t)

	種類	埼玉	茨城	栃木	千葉	合計
41期	アスコンがら	1,526		12	386	1,924
	コンクリートがら	196			31	227

【主要建設車両・機材】

本 社	乗用車	2台			
埼玉(営)					
ダンプトラック 8台	トラック	7台	掘削機	4台	乗用車 5台
茨城(営)					
ダンプトラック 5台	トラック	2台	掘削機	3台	乗用車 2台
栃木(営)					
ダンプトラック 10台	トラック	2台	掘削機	2台	乗用車 4台
千葉(営)					
ダンプトラック 2台	トラック	1台	掘削機	1台	乗用車 1台

全営業所のダンプトラックは全て産廃収集運搬の登録がされています。
下記にダンプ種類と台数の内訳記載。

埼玉(営)…4t普通ダンプ2台・3t小型ダンプ6台。茨城(営)…4t普通ダンプ2台・3t小型ダンプ1台・2t小型ダンプ2台
栃木(営)…4t普通ダンプ7台・3t小型ダンプ2台。2t小型ダンプ1台。
千葉(営)…3t小型ダンプ2台。

◎城北ガードシステム

当社は警備業として、平成11年4月に設立され、(株)内田土木の施工現場の交通誘導を主に営業しています。

城北は60株を発行しており、そのうち42株は内田土木が所持しているため、城北ガードシステムは内田土木の完全なる子会社です。

【事業概要】

平成11年4月2日設立 資本金300万円 従業員14名

【警備業】

埼玉県公安委員会認定 第43000396号(H26/5/12)

(4)事業規模

◎内田土木

	32期	33期	34期	35期	36期	37期	38期	39期	40期	41期
完成工事高(千円)	493,668	536,230	546,647	590,526	550,821	761,471	759,784	760,219	971,250	980,604
産廃収集運搬(千円)	12,701	24,682	12,078	18,001	17,656	16,480	13,699	21,880	19,584	18,633

41期(R6.9月～R7.8月)

◎城北ガードシステム

	18期	19期	20期	21期	22期	23期	24期	25期	26期	27期
売上高(千円)	67,029	67,229	73,129	63,345	91,431	124,002	138,753	167,054	142,965	

27期(R7.1月～R8.2月)

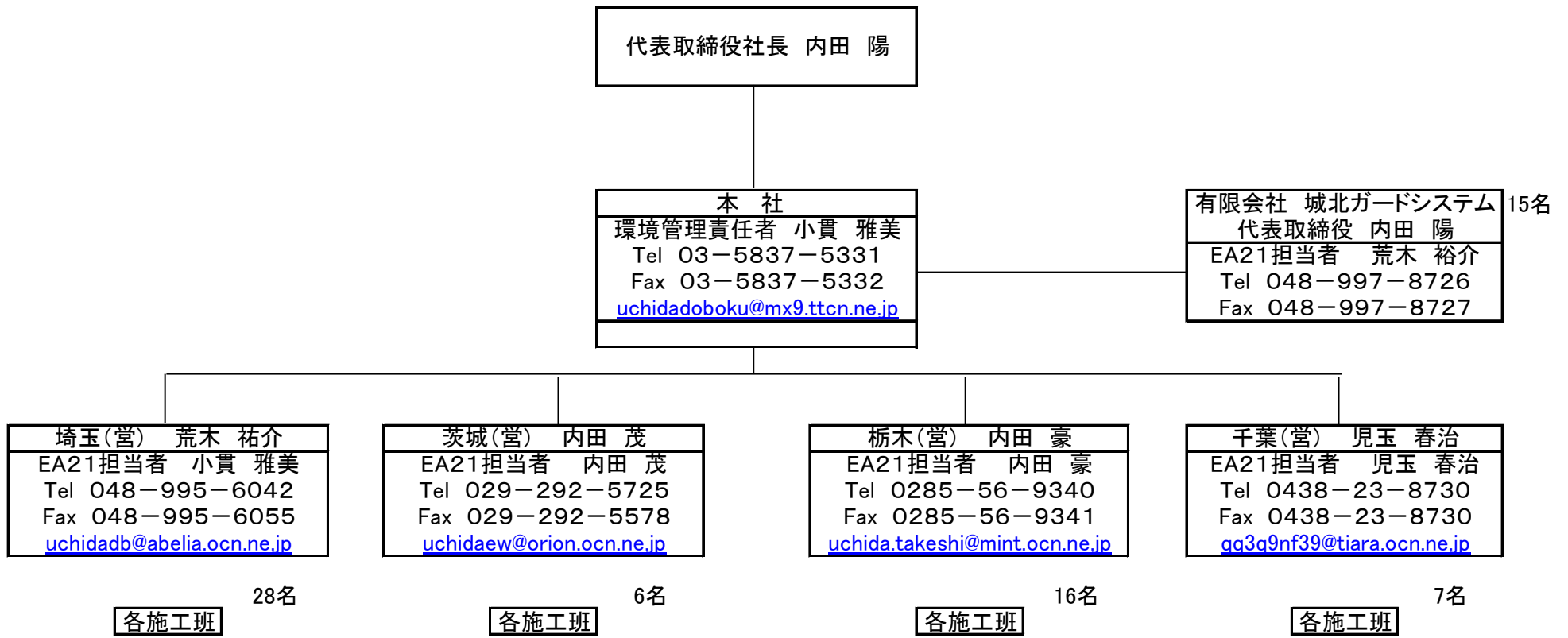
(5) EA21組織体制、環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

※当社は全組織、全活動を対象としています

内田土木株式会社
エコアクション21組織図

作成日 R7年10月21日

作成者 小貫 雅美



役割・責任・権限	
代表者 (社長)	・経営における課題とチャンスを確認にする
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意する
	・環境経営管理責任者を任命
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する(代表者からEA21の権限を委任)
	・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限)
	・環境目標・環境経営活動実施計画書/実績表の作成
	・教育・訓練の実施を指示
	・環境上の緊急事態への準備・対応
	・環境経営活動レポート作成
	・環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告
	・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施
	・環境関連文書・記録の管理
	・外部環境情報の窓口
各営業所担当	・環境目標及び環境経営活動計画の実施・確認・評価、達成状況の報告
	・環境経営活動におけるチェックリストの記録・運用管理
	・実施上の問題点の是正・予防処置実施
全従業員	・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚
	・EA21で決められた各自の役割を実施

IV環境経営方針

株式会社内田土木は社是に掲げる『安全と健康は全てに優先される。我らの職業を持って社会に貢献し、利益は社員と社会に還元させる。』を基本に、地球環境を意識した行動が取れる職業人の育成を目指します。

そして、美しい地球、美しい日本、安全環境で緑多い地域社会を次世代に伝え残していくために、環境への負荷の軽減を実践し、資源の有効利用と再利用に努めていきます。

- 1) 当社は建設現場の施工及び事業活動全体を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標、環境経営活動計画を定め継続的に実践と改善に努めます。
- 2) 当社の事業に関連する環境、その他の法規制を遵守するとともに、行政機関、地域の要請等に協力いたします。
- 3) 事業活動全体に於いて環境に与える負荷を削減するために、次の事項に関して取り組みます。
 - ・親会社からの信頼のおける会社であり続ける。
 - ・全社員の環境に対する意識改革を図る会議の実施。
 - ・工事車両、連絡車両のエコドライブの実施により、CO2を抑制。
 - ・現場から発生する残土の分別廃棄の徹底によるリサイクル率の向上。
 - ・再生資材の適正且つ有効利用。
 - ・現場作業、事務所作業の効率化を図り、廃棄物、電力、紙、水資源の削減。
 - ・社員寮に於いて、環境負荷の削減の効果的な実行。
 - ・社内、寮のゴミ分別収集の徹底と適正処理を実行。
 - ・積極的に社内に緑を取り入れる。
 - ・地域社会に対する清掃を基準にした貢献をする。
 - ・グリーン購入を優先する。
 - ・環境に配慮した施工を実施する。
- 4) 廃棄物の発生抑制、適正処理に努め再生循環型社会の実現に協力する。
- 5) 地域社会との融和に努め、環境保全に参加いたします。

この環境経営方針は当社全従業員に周知徹底し、実行いたします。

令和4年7月25日
株式会社 内田土木
代表取締役 内田陽

V環境経営目標(40期～43期)

環境経営目標	営業所	基準年対比		環境経営目標			
		40期※		41期	42期	43期	
		2023年9月～2024年8月		2024年9月～2025年8月	2025年9月～2026年8月	2026年9月～2027年8月	
				1%削減	現状維持	現状維持	
1. 電力使用量削減 使用実績	埼玉営業所	19,083		18,892	18,892	18,892	
	茨城営業所	7,078		7,007	7,007	7,007	
	栃木営業所	17,059		16,888	16,888	16,888	
	千葉営業所	8,689		8,602	8,602	8,602	
	計 (kWh)	51,909		51,390	51,390	51,390	
	計(Kg-CO₂)	21,854		21,635	21,635	21,635	
2. LPG使用量削減 使用実績	埼玉営業所	1,817		1,799	1,799	1,799	
	茨城営業所	96		95	95	95	
	栃木営業所	398		394	394	394	
	千葉営業所						
	計 (kg)	2,312		2,289	2,289	2,289	
	計(Kg-CO₂)	6,940		6,870	6,870	6,870	
3. 化石燃料使用量 削減使用実績	埼玉営業所	ガソリン	12,477	12,352	12,352	12,352	
		灯油					
		軽油	43,653	43,216	43,216	43,216	
	茨城営業所	ガソリン	3,373	3,339	3,339	3,339	
		灯油	909	900	900	900	
		軽油	15,971	15,811	15,811	15,811	
	栃木営業所	ガソリン	7,059	6,988	6,988	6,988	
		軽油	41,037	40,627	40,627	40,627	
		ガソリン	4,753	4,705	4,705	4,705	
	千葉営業所	灯油	167	165	165	165	
		軽油	11,384	11,270	11,270	11,270	
		ガソリン	27,662	27,385	27,385	27,385	
	計 (L)	灯油	1,076	1,065	1,065	1,065	
		軽油	112,045	110,925	110,925	110,925	
		ガソリン	64,222	63,580	63,580	63,580	
	計(Kg-CO ₂)	灯油	2,681	2,655	2,655	2,655	
		軽油	294,900	291,951	291,951	291,951	
二酸化炭素総排出量	合計(Kg-CO ₂)	361,803		358,185	358,185	358,185	

環境経営目標		営業所	基準年対比	環境目標		
水道 使用量	4. 水道使用量削減 使用実績	埼玉営業所	1,414	1,400	1,400	1,400
		茨城営業所	88	87	87	87
		栃木営業所	303	300	300	300
		千葉営業所				
		計 (m³)	1,805	1,787	1,787	1,787
コピー 使用量	5. コピー使用量削減 使用実績	埼玉営業所	172,971	171,241	171,241	171,241
		茨城営業所				
		栃木営業所	13,123	12,992	12,992	12,992
		千葉営業所				
		計 (枚)	186,094	184,233	184,233	184,233
6. 廃棄物の排出量の削減 埼玉(営)のみ	廃棄物	67,795	67,117	67,117	67,117	
	一般廃棄物	2,537	2,512	2,512	2,512	
	計(kg)	70,332	69,629	69,629	69,629	
6-1. 産業廃棄物の活用	埼玉営業所	☆配管材料、布設ケーブル等は支給品であり、残材すべて元請会社に返納するため、残材はありません。				
	茨城営業所	☆アスファルトガラ、コンクリートガラの産業廃棄物はすべて再生処理されています。				
	栃木営業所	☆現場で発生した残土と産業廃棄物を分離させ、徹底処理しています。				
	千葉営業所					
7. グリーン購入(事務用品) 埼玉(営)のみ		☆去年40期の購入割合が75%なので3%上げて、78%を目指す。				
本業での 取り組み	8. 保安機材の環境対策	☆随時、事務所の電気も、工事用の機材等もLEDに変更していきたい。				
	9. 連絡車のハイブリッド化	☆乗用車は14台あり、そのうち9台がハイブリッドであり5台はまだハイブリッドになっていない。折を見て変更していく。				
	10. 環境に配慮した施工	☆工事現場周辺の騒音、振動の防止。工事チラシを配布し、近隣に理解を求める。				
11. 地域社会への貢献		各営業所周りでの月二回の清掃。				

※ 全営業所の購入電力の調整後排出係数(Kg-CO₂/kWh)は2024年東京電力エナジーパートナーの0.421を使用しました。

VI環境経営目標及び今期(41期)の実績

環境経営目標	営業所	基準年度※				評価		
		40期	41期の目標値	41期				
		2023年9月～ 2024年8月	前年度比1%削減	2024年9月～ 2025年8月				
二酸化炭素排出量	1. 電力使用量削減 使用実績	埼玉営業所	19,083	18,892	19,719	104.4%	△	
		茨城営業所	7,078	7,007	7,357	105.0%	△	
		栃木営業所	17,059	16,888	19,900	117.8%	×	
		千葉営業所	8,689	8,602	8,952	104.1%	△	
		計 (kWh)	51,909	51,390	55,928	108.8%	×	
		計(Kg-CO ₂)	21,854	21,635	23,546	107.7%	×	
	2. LPG使用量削減 使用実績	埼玉営業所	1,817	1,799	1,713	95.2%	○	
		茨城営業所	96	95	6	6.5%	○	
		栃木営業所	398	394	435	110.4%	○	
		千葉営業所						
		計 (kg)	2,312	2,289	2,155	94.1%	○	
		計(Kg-CO ₂)	6,940	6,870	6,468	93%	○	
	3. 化石燃料使用量 削減使用実績	埼玉営業所	ガソリン	12,477	12,352	11,445	92.7%	○
			灯油					
			軽油	43,653	43,216	38,857	89.9%	○
		茨城営業所	ガソリン	3,373	3,339	1,369	41.0%	○
			灯油	909	900	250	27.8%	○
			軽油	15,971	15,811	8,827	55.8%	○
		栃木営業所	ガソリン	7,059	6,988	11,764	168.3%	×
灯油								
軽油			41,037	40,627	35,752	88.0%	○	
千葉営業所		ガソリン	4,753	4,705	5,939	126.2%	×	
		灯油	167	165	221	133.7%	×	
		軽油	11,384	11,270	20,876	185.2%	×	
計 (L)		ガソリン	27,662	27,385	30,517	111.4%	×	
	灯油	1,076	1,065	471	44.2%	○		
	軽油	112,045	110,925	104,312	94.0%	○		
計(Kg-CO ₂)	ガソリン	64,222	63,580	70,850	111.4%	×		
	灯油	2,681	2,655	1,174	44.2%	○		
	軽油	294,900	291,951	274,547	94.0%	○		
計(Kg-CO ₂)	361,803	358,185	346,571	96.8%	○			
電気・LPG・化石燃料・全ての二酸化炭素総排出量		390,597	386,691	376,585	97.4%	○		

※ 全営業所の購入電力の排出係数(Kg-CO₂/kWh)はR6年東京電力エネルギーパートナーの0.421を使用しました。

			40期	41期の目標値	41期		評価
水道使用量	4. 水道使用量削減 使用実績	埼玉営業所	1,414	1,400	1,311	93.7%	○
		茨城営業所	88	87	45	51.7%	○
		栃木営業所	303	300	328	109.3%	×
		千葉営業所					
		計 (m ³)	1,805	1,787	1,684	94.2%	○
コピー 使用量	5. コピー使用量削減 使用実績	埼玉営業所	172,971	171,241	156,889	91.6%	○
		茨城営業所					
		栃木営業所	13,123	12,992	18,684	143.8%	×
		千葉営業所					
		計 (枚)	186,094	184,233	175,573	95.3%	○
6. 廃棄物の排出量の削減	産業廃棄物	67,795	67,117	52,903	78.8%	○	
	一般廃棄物	2,537	2,512	3,074	122.4%	×	
	計(kg)	70,332	69,629	55,977	80.4%	○	
6-1. 産業廃棄物の活用	埼玉営業所 茨城営業所 栃木営業所 千葉営業所	☆配管材料、布設ケーブル等は支給品であり、残材すべて元請会社に返納するため、残材はありません。 ☆アスファルトガラ、コンクリートガラの産業廃棄物はすべて再生処理されています。 ☆現場で発生した残土と産業廃棄物を分離させ、徹底処理しています。					
7. グリーン購入(事務用品) 埼玉(営)のみ		☆前年より下がり、約68%という結果になった、目標値を達成できなかった。今後も変わらず70%以上を目標値にし、グリーン購入を継続していく。					
本業での 取り組み	8. 保安機材の環境対策	☆電子看板の使用があるときはLEDライトのものをほぼ使っている。事務所の二階、一階はLEDに変更している。強いて言えば水道などについている小さな電気など細々としたところがまだ蛍光灯である。無理をせず少しずつ変更していこうと思う。					
	9. 連絡車のハイブリッド化	☆乗用車14台のうち9台がハイブリッドなので大体6割くらい、徐々に全台ハイブリッドになるように折を見て変更していく。					
	10. 環境に配慮した施工	☆工事現場周辺の騒音、振動の防止。工事チラシを配布し、近隣に理解を求める等、実施はしている。					
11. 地域社会への貢献		☆各営業所周りでの月二回の清掃。					

VII.環境経営計画及び取組結果と評価、次年度の取組内容

当社は、事業活動における環境負荷低減のために以下のとおり実施していきます。尚、経過と問題点に関してはEA21委員会にて対応していきます。

取組み内容	取組結果	取組評価	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量削減			取組内容は変わらず、継続する。このまま、節電の意識を持つように事務所以外にも食堂、会議室、倉庫に誰もいない時はこまめに消灯、空調もいないときは必ず消すよう従業員に周知する。殆どLED変更出来ているがまだ変えていない蛍光灯を折りをみて変えていく。
ア). 電気の有効利用		電気の削減はできなかった。今回に関して言えば工事現場に行くときに空調の点けっぱなし、電気の点けっぱなしが見受けられ、その結果が出たと言える。	
・長時間離席するさいは、PCの電源を落とすこと	○		
・夜間作業時に使用するライト等をLEDに変更	○		
・使用していない部屋の電気、空調を消すこと	×		
・長時間離席するさいは、空調を消すこと	×		
イ). LPGの有効利用			
・風呂場の利用時間の取り決め。	△	風呂場の利用時間の取り決めは、大分定着してきている。	取組内容は変わらず、このまま次年度も継続していく。
・現場へLPGボンベの必要最小限の持ち込みの徹底。	○		
ウ). 化石燃料の有効利用			
エコドライブの徹底。	○		
・不要な荷物を下ろす。	○	車両点検は良く実施され、エコドライブも徹底されている。必要な分だけの化石燃料も購入できて、使用も出来ている。	次年度も、このままの内容で継続していく。
・車内エアコンの適正な温度管理	○		
・毎月1回の車両点検を実施	○		
・アイドリングストップ。	○		
・急発進、急ブレーキの禁止。法定速度の順守。	○		
・必要な分だけの軽油、ガソリンの購入の徹底。	○		
2. 総排水量削減		LPGと同様だが、風呂場の利用時間は以前より大分定着してきている。	取組内容は変わらず、このまま次年度も継続していく。
・風呂場の利用時間の取り決め。	△		
・手洗い、食器を洗う時に余計な流水をしない	○		
・工事現場に必要な分だけの水を使用すること。	○		
3. 総廃棄物排出量削減		作業現場では、目標を達成できた。環境に配慮した施工として、残土と産廃を分離し、産廃を減らすようにしている。また、汚泥が発生した場合は、バキュームで迅速に処理している。折を見て、エコキャップ等をリサイクルにだしている。コピーの枚数が増えてしまったのでミスコピー等に注意していく。	取組内容は変わらず、このまま次年度も継続していく。
・営業所所在地の地域条例に準じたゴミの分別処理。	○		
・作業現場から発生する残土と産廃物の分離と適正処理。	○		
・リサイクルできるものはリサイクルする。	○		
・コピーせずPC上で確認できるものは確認する。	○		
・ミスコピーの防止。	○		
4. 物品の購入			
・金額と相談し、グリーン購入を優先。	△		
・消耗品を計画的に購入する。	○	現場も再生砂等を使用し、問題なく達成できている。今後も継続していく。	取組内容は変わらず、このまま次年度も継続していく。
・連絡車のハイブリッド化。	○		
・保安機材等をLEDに変更していく。	△		
5. 地域社会貢献		清掃作業は変わらず実施できている。安全会議は実施したが、内容が少しマンネリ気味というか、慣例的になっている。次年度はもう少し発展的な話し合い等が実施できないか意識する。	取組内容は変わらず、このまま次年度も継続していく。
・毎月2回の営業所周辺の清掃作業。	○		
・月一回の社内安全会議でEA担当者の報告、話し合いを実施。	△		
6. その他			
・コピーの裏面(メモ・コピー)利用。	○	コピー用紙削減自体には関係ないかもしれないが、再生紙の裏面利用は今後も継続していく。	取組内容は変わらず、このまま次年度も継続していく。
・余った再生紙を他の営業所へ配布。	○		
・騒音、振動の防止。工事チラシを配布し、近隣に理解を求める。	○		
全体的な見解 (環責)			
<p>総トータルで見ると全体的に達成できたとは言える。今期は電気料金が各営業所ともに達成できなかった。栃木(営)・千葉(営)はまだ人数の増加があり、それに伴った仕事量、稼働量が増えた影響があるので今後落ち着くと言えるのと、また茨城(営)に関しては人員が少なくなってしまったが仕事の量があったため他の各営業所から手伝いの人員が行っており、事務所の待機時間などによる影響で電気の使用量が膨らんでしまったといえるが、埼玉(営)に関しては電気の削減ということに対してやや従業員の意識が低かったと言わざるを得ない。事務所に併設されている寮の部屋や大浴場、食堂などの水道光熱費が会社負担であるところから、エアコンの点けっぱなしや、電気を点けたまま長時間留守にする、ということが重なり、ほぼ毎年電気に関しては問題なく達成できていたのが今回、達成できなかったのが数字に表れてしまった。再度、寮に住んでいる従業員はもちろん、全従業員に会社の光熱費は他人事ではなく、我が事のように意識して使用するよう再度、周知はした。ただ今年はかなり酷暑ではあったので強めに冷房をかけていたり、工事現場から戻ってきて、部屋に冷房が点いてないのは辛い、などのことを鑑みると、健康を顧みないで節約するようというのは流石に酷だとは思っているので、自分の出来る常識の範囲で今回に関して言えば節電を意識していただきたいと思った。他の項目に関しては目標自体は達成できているので埼玉(営)は健闘している。また他の営業所に関して言えば、上記に既に書いてあるが改めて栃木(営)・千葉(営)は人員増加、仕事量、稼働量の増加は一過性のものなのでこのまま続けてはいずれは数地は落ち着くので問題なしとした。茨城(営)は人員が減ってしまったため全体的に稼働量が減ってしまったので、当然全体的に使用量が減っている。こちらもあえる意味、このままの状態が続けば数字が落ち着くと考えられる。</p>			

○;80%できた。 △;50~80%できた。 ×;50%以下

問題がなければ、次年度もこのまま継続して取り組む。

VIII. 環境関連法規等への遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規等は次の通りです。

- ・廃棄物の処理および清掃に関する法律(産業廃棄物及び一般廃棄物)

- ・自動車Nox・PM法

- ・オフロード法

- ・浄化槽法

- ・消防法(各営業所所在地の火災予防条例)

- ・警備業法

- ・道路交通法

- ・フロン類使用の合理化及び管理の適正化に関する法律

当社に適用される環境関連法規は、「環境法規制等遵守チェックリスト」に取りまとめ、遵守評価した結果、これらへの違反はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

R7年11月28日に第41期の全体評価を実施しました。
当社は認証取得後16年以上経過し、この間元請様からの信頼性や社員の環境意識向上には大きな成果がありました。
次年度の環境経営目標等の見直しに反映させていきます。